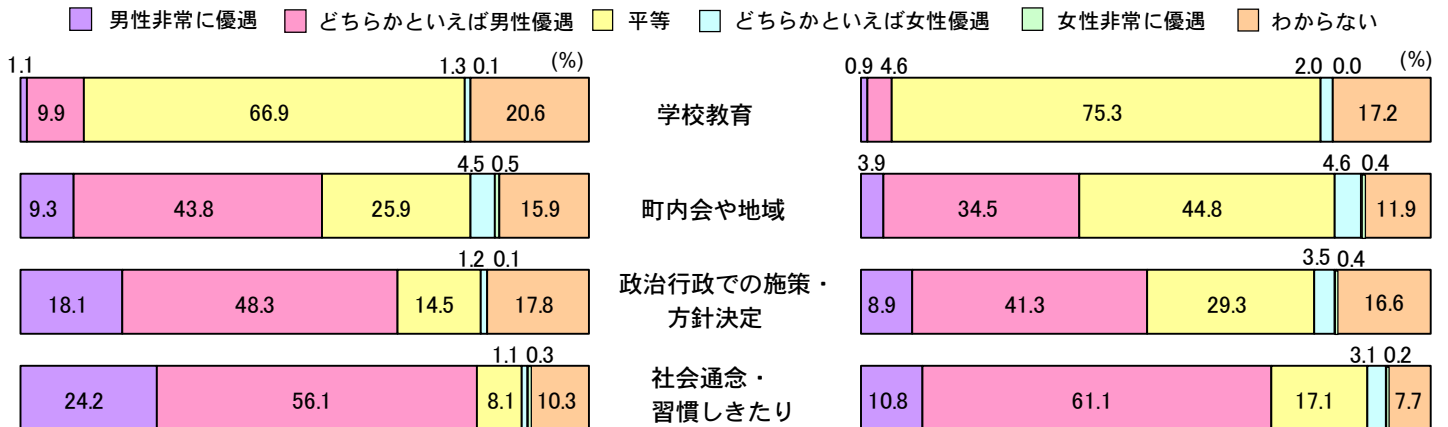


# A 社会の制度や慣行などを見直してみよう

## ●あらゆる分野における平等感



<女性>

【資料：鳥取県男女共同参画意識調査（平成21年度）】

<男性>

### 重点目標

- 1 自治体、企業、団体などで物事を決めるときに男女がともに参画しよう
- 2 男だから、女だからと決めつけないで、男女がともに自分らしく生きるため、考え方を变えよう
  - ・教育と学習の機会を充実しよう
  - ・広報・啓発活動を充実する
- 3 様々な分野で男女共同参画を進めよう
- 4 自治会など地域社会での男女共同参画を進めよう
- 5 国際社会の一員として行動しよう



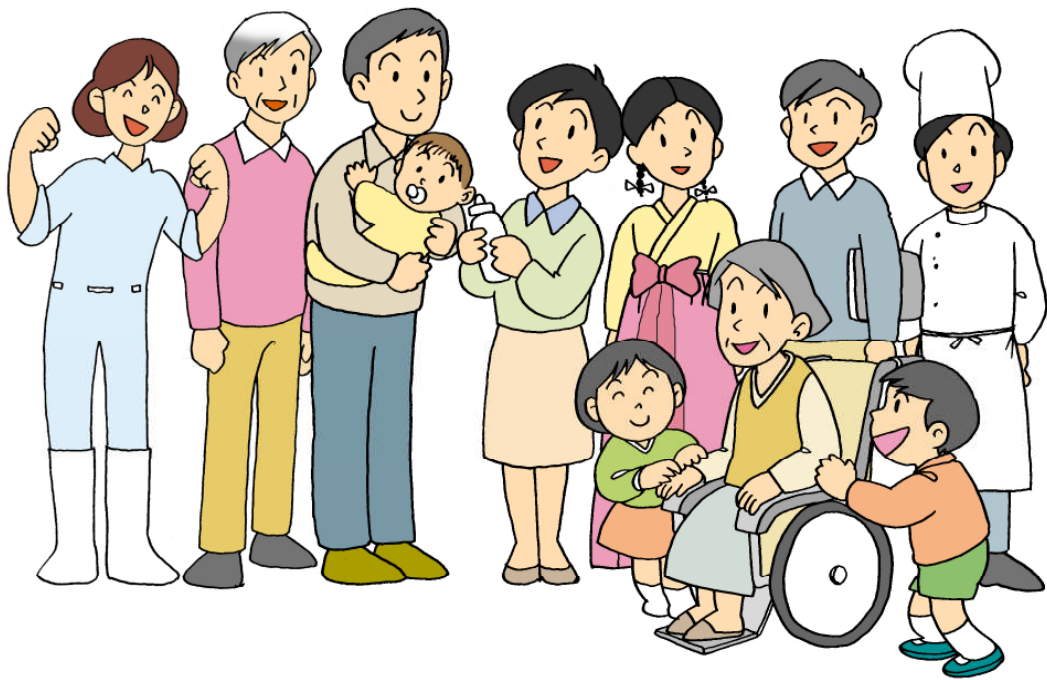
### 参加ではなく参画

「参画」とは、単なる「参加」（その場所にいる）ということではなく、「なにか物事を決めるときメンバーになっている。」という積極的な意味があります。「女は黙っている」ではなく、みんなと一緒に考え、よく話し合っ物事を決め実行していくこと、みんなが納得できて活力も増していく、そういうことだと理解してください。

| 数値目標                          | 計画策定時       | 直近            | 目標値           |
|-------------------------------|-------------|---------------|---------------|
| ○ 性別によって役割を固定する考え方に同感しない県民の割合 | 45.6% (H16) | → 44.8% (H21) | → 80.0% (H21) |
| ○ 女性の自治会役員割合（会長・副会長）          | 2.4% (H19)  | → 3.4% (H21)  | → 5.0% (H23)  |

# 第2次鳥取県男女共同参画計画

【ダイジェスト版】



## 男女共同参画社会とは、

女性も男性も高齢者も若者も、  
家庭・地域・職場のあらゆるところで

- ・一人一人の人権が大切にされ
- ・「人」として個性と能力が十分に発揮でき
- ・自分にできることは自分で責任を持って取り組み
- ・できないところは、家庭や地域や社会の制度で支え合って

心豊かに、いきいきと伸び伸びと暮らせる社会です。